

流星 第25号(OB 会誌12号)

題字 河村先生(元部長)

イラスト 伊東(子 44)

目次

巻頭言	部顧問	平木 准教授	2
所感	会長	木村(機 36)	3
新主将挨拶	新主将	池田(2回生)	4
新 OB 会担当挨拶	OB 会担当	漆原(2回生)	4
新入部員挨拶			4
自動車部 平成 26 年活動・平成 24 年度決算報告	現役		5
2013 年第 51 回 KIT Night ラリー詳細	ラリー委員長	久原	5
OB 会 25 年度活動、交流会報告、26 年度活動計画	事務局	中西(50)	6
役員名簿			11
OB 会 25 年度会計報告、26 年度予算案	会計	武地(51)	12
OB 会 会計監査	会計監査	田中(45)	12
OB 会 会費、部活動援助費、OB 会カンパ振り込み状況			14
特別企画1;平成 25 年(第 7 回)OB 会(中京地区開催)	中京地区幹事	川越(47)	15
	中京支部副幹事	河野(49)	
		溝尻(50)	
		永田(52)	
		御領(63)	
新城ラリー・・・	関西地区副幹事	山崎(49)	17
中京地区の皆様へ(総会幹事へお礼)	中京地区	小川(63)	18
特別企画2;単純だけど奥深いスポーツ、マラソン			
会員名簿、物故者名簿			22
編集後記			23

「こんなことが・・・」



部顧問 平木 准教授

その日、学生4名を乗せて実験場所へ向かうことになっていたのですが、通勤用の軽乗用車ではなく、普段妻が使っているワゴンを借りて出掛けた。一人での移動がほとんどな私に対して、妻は友人を乗せることが多く、万が一の場合を考えてそのようにしている。夕方、妻から電話があり、軽乗用車に乗っていて事故にあった、という。信号待ちをしていたところに、かなりの速度で追突されたのだそうだ。しかも、妻には同乗者がいた。それも、よりによって後部座席に、だ。なぜ？と思ったが、同乗者は2名いて、助手席の1名を降ろしてから事故にあったということらしい。2人とも身体の方にダメージはなく幸いだったが、精神的なショックは大きく、しばらく茫然としていたようだ。相手の人がなぜか事故に手慣れていて、その場の処理はすべて行ってくれた。保険会社も対応が早く、その日の夜自分が帰宅したときには、車はすでに代車に置き換わっていた。

数日ほど様子を見ても、ともに身体の方にさしたる異常もないようなのでようやく安心できた。残る気がかりと言え、9年落ちの車では修理代の方が高つくはずで、通勤の足がなくなってしまうことだ。しかし、これも相手が加入していた保険のカバー範囲が広くて、問題なく直してもらえなくなった。1週間ちょっとして修理を終えて戻ってきた車は、私の目にはまったく元の通りに見える。板金を担当した人いわく、「かなりひどく潰れていました」とのこと。さすがである。再び通勤で使用するようになって、「代車より断然いい」と感じて乗っていると、後方で軋むような金属音がすることに気付いた。古いから仕方ない、と思うようにしていたが、以前は感じていなかったこともあり、気になっていた。次の週末、出かけようとしてふと後輪付近に目をやったところ、マフラーを吊り下げるゴムブッシュに何も

かかっているのが見えた。「嘘だろ」と思いつつも、マフラーを探ると案の定垂れ下がっているステーがあった。そのままにしておくわけにもいかず、その足で修理会社へ向かい、応対に出た店員に状況を説明した。しばらくすると、先日の修理担当者が出てきて、「そこは修理時には外していません」と言う。それでも異音のことを訴えると、ようやく応急処置を施してくれた。正直なところ、作業を開始する前に状況を把握することから始めるはずだから、素人が見てもわかるものに気付かないはずはない、とツッコミたくなった。当初感じていた対応の素晴らしさもごく1面に過ぎないものであった。

別の日、研究室の学生を軽乗用車に同乗させた際、マニュアル車とオートマ車のどちらが安全か、を話題にしてみた。普及率を考えれば何をいまさらな話ではあるが、今でもオートマ車の誤発進に関するニュースには事欠かない。正しく操作をしないと進みすらないマニュアル車が安全と唱える生きた化石の私に対し、学生は違った。操作が煩わしくないオートマの方が注意力をより外部に向けることができるから安全、なのだそうだ。同意はしないが、一理ある。矛盾だらけの人間よりコンピューターに任せる方が信頼できる、とは言える。だが、そのコンピューター制御にもまたそれを作った人間が反映されている。

「こんなことはないだろう」ということが実際に起こる。人間が勝手にそう決めつけているからだ。だが、工学においては想定の内外を区別することは不可避だ。一番有難いのは、想定外の事態にコンピューターが対処してくることだが、もちろんそんなことはあり得ない。やっぱり人間次第である。つまりは、人間に施す教育が大事となる。どこでそんな教育をしているかって？どこだろう、大学・・・なのかな？ジレンマだ…。了

平成 25 年 OB 会総会を終えて



自動車部 OB 会会長 木村(36)

大型台風27,28号接近の情報で、開催が心配されましたが、総会、懇親会、翌日のオプション行事も、予定通り無事終了することが出来ました。開催準備に尽力された中部地区実行委員会の皆様、遠路ご参加を頂いた会員の皆様に、厚くお礼申し上げます。

総会に先立つ役員会で、前総会からの課題「会則改正」と「現役支援・交流」他、を討議しましたので概要をお知らせします。

会則改正については、2年間委員会で検討してきましたが、尚課題を残しておりましたので、役員会の席で基本方針を確認し、会則には「——とし詳細は付則による」を追加することとし、付則の整備、特に「会計制度や支援制度の明確化」を目指す事としました。担当は門司、武地、中西3氏にお願いしました。

次に現役支援・交流については、中西、山下氏により準備された「現役支援・交流実施要領」を基に検討し、これを承認しました。目標は、「部活動の活性化に向けて組織的、計画的に現役支援・交流が出来る体制作りを目指す」事とし、「人的支援」と「資金支援」の両輪での活動を目指します。このため、山下氏(H1)には現役交流担当役員(総会役員人事で承認済み)、及びOB会窓口担当者をお願いしました。「人的支援」では、山下氏の指揮の下でサポート隊を組織し、ラリーや部活動への支援に当たることとなります。「資金支援」では、同じく山下氏の下で支援資金の運用管理、部の収支計画改善への助言をすることとなります。さらに、OB会として、毎年一定額の資金支援をするよう努力することになりました。この為、九州近辺の会員の皆さんに

は人的支援へのご協力を、一般会員の皆さんには部活動援助金への一層のご協力をお願いします。

更に、名簿担当役員に新たに西原氏(54)をお願いし、後に総会で承認されました。名簿の変更、整備を、松元氏とともに担当しますのでよろしくお願いします。

さて、OB会も、今後益々高齢化し、特に平成世代の会員の入会と活動の活性化を考えていかなければなりません。一方、平成世代のOBは決して多くはありませんが、少しでも多くの平成OBの発掘、入会が実現出来ればと考えています。平成世代のOBは、同期、あるいは前後のOBを積極的に発掘して頂きたいと考えています。

総会、懇親会も無事終わり、翌日はバスで新城総合公園に行き、「新城ラリー」を観戦しました。好天の下で、スペシャルステージ及びダートの同乗デモランが開催され、爆音とドライブテクニックを満喫しました。

綿密な計画の下に、順調に運営して頂いた、中部地区川越実行委員長、実行委員の皆さんに、改めて御礼を申し上げます。

この後、昭和36年同期入社 of 懇親会が山口市の湯田温泉で開催されましたが、出席率も毎回下がり、残念ながら次回で最後とする事になりました。欠席理由も健康上の理由が増えてきました。年齢は逆戻りできませんが、それでも常に頭を働かせ、体を動かす事により、健康寿命を延ばし、2020年の東京オリンピックや、部分開通するかもしれないリニア新幹線も体験するために、元気良く生きて行きたいものです。 以上

先輩の皆様へ

責善会自動車部 第73代主将 池田(2回生)

先輩の皆様にはご清勝のこととお慶び申し上げます。私は、来期より第73代主将を務めさせていただきます、2回生の池田と申します。

今回、主将という大役を務めさせていただきます誠に光栄に思います。責善会自動車部の先輩方が積み上げてきた伝統と歴史、そして私が責善会自動車部でひしひしと感じた“車の楽しさ”を数多くの方に知っても

らえるよう、真髓を注ぎたいと思っております。それとともに後世に惚れる新しい事業にも取り組んでいきたいと思っております。

まだまだ未熟者でございますが尊敬する先輩方のご助言・ご協力を頂いて大変良き活動をしていきたいと思っております。何卒よろしくお願い致します。

新OB担当挨拶

今回、OB担当をさせていただきます、2回生漆原と申します。今後、OB会に関する自動車部の窓口を受け持つこととなりました。不手際な部分もあるとは思いますが、宜しくお願い致します。

新入生挨拶

1. 杉谷

自分が自動車部に入部した理由は、ジムカーナやラリーのような自動車競技に出てみたかったからです。また、昔から機械などを分解したり、それをもう一度組み立てたりするのが好きだったので、車の整

備についても詳しく知りたいと思ったからです。自分はまだまだ知らないことばかりなので先輩方の力をお借りして知識や技術を身に付けていきたいと思えます。

2. 谷口

私が自動車部に入部した理由は、何か経験したことの無いことを始めたいと思っていて、卒業後や就活の際に役立つことのできる知識を得たかったからです。また、部活見学に行ったとき楽しかったのと、

勢いです。取れたら二年生の前期内までには免許を取り、取ったら、特にナビゲーターとしてラリーに出てみたいと思っています。そして、出来るだけオフィシャルとしても競技に参加し、全制覇したいです。

3. 平田

僕がこの自動車部に入部した理由は、高校三年生のとき車に興味を持ち、この大学に入学した暁には自動車に関係のある活動がしたいと思っていたことにあります。本やネットをみるだけではわからない

ことが知りたくて自動車部に入りました。これからの抱負としては車の整備がもっとうまくなるように努力することとはやく自分の車が持てるように環境を整えることです。

4. 吉岡

僕が自動車部に入部しようと思った動機は、工業大学らしいことをしてみたかったということ、車いじりをしてみたかったということがありました。これからの

目標として、基礎的な運転技術の向上のほか、自動車整備に関する知識を増やしていきたいと思えます。

5. 漆原

自分が自動車部に入部したのは、自動車のエンジンルームや足回りなど内部の構造はどうなっているかに興味があったからです。普段から多く目にする自動車がアクセル踏むとなぜ走るのか、ハンドルを回すことでタイヤにどのように伝わっていくのかな

ど知りたいと思ったからです。入部したあとは自分が車を持ったときに整備が自分でできるように車庫に積極的に顔をだし、先輩方の技術を盗んで知識を深めていきたいと思います。

2014年活動計画

3月 追い出しコンパ

4月 入学式・部員勧誘

5月 ACK スプリングラリー・全九州学生ダート

6月 春期全九州学生ジムカーナ

8月 遠征・強化合宿

10月 秋季全九州学生ジムカーナ

11月 第52回 ACK・KIT ナイトラリー・工大祭

12月 忘年会

第51回 ACK・KIT ナイトラリー詳報

九州工業大学工学部責善会自動車部 第51代ラリー委員長 久原



2013年11月9日～10日に開催しました、第51回 ACK・KIT ナイトラリーが無事に終了いたしましたので、報告させていただきます。

大分県日田市上津江村にある国際サーキット、オートポリスを中心に、上津江・中津江・前津江の林道を使用して総移動距離約100kmのラリーを開催させていただきました。

今回の参加台数は14台と少なかったですが、学生選手権もかかっており、学生の参加台数が14台中4台と目立ちました。

当日は雨の予報が出ており、実際2ndステージ

(林道区間)に入り雨が降りました。しかし、大きな事故もなく無事に競技の進行ができました。

1stステージでは、オートポリスのレイクサイドコースを使用して、SSラリーを行いました。大きな事故もなく皆さん元気に走っておられました。

2ndステージでは、林道を使用した計算ラリーを行いました。こちらではハイアベ区間で2台リタイアしましたが、クルーは無事でした。計算ラリーということもあり、ベテランの方々には好成績を収めており、学生もそれなりの成績を収めておりました。

10 今回のラリーを開催するにあたり、徳尾三郎さんを

はじめとする ACK の皆様には全面的協力をしていただきました。OB の皆様も各地から来られ協力していただき、多くの方の助けを頂いて開催することが出来ました。関係者皆様に心よりお礼申し上げます。

来年は第 52 回になります。場所が変わり、福岡県内で行う予定です。今後とも ACK・KIT ナイトラリーを盛り上げていきたいと思っておりますので、皆さんどうぞよろしくお願いたします。了

平成24年度工学部自動車部決算報告

24.4.1～25.3.31

収入	金額	支出	金額
責善会 援助金		大会参加費	
OB会 援助金		維持費等	
部員 負担金		エルフ車検代	
		部車維持費	
KITナイトラリー		KITナイトラリー	
		平成25年度へ繰越	
合計		合計	

—OB 会活動報告・決算報告—

平成25年度活動報告 (H24/10-H25/9)

OB 会 事務局 中西(50)

- 【上期活動報告】** (OB会員敬称略)
- 平成24年 11/3-4 : 第50回KITナイトラリー現役支援(JAF公認九州Jr.シリーズ)
- 11/ 11 : **【平成25年(第7回)OB会総会】**(中部地区主催)第1回実行委員会開催(キックオフ)
(愛知県刈谷市/Dスクエアにて:川越、河野、溝尻、永田、御領、小川、計6名)
- 12/15 : 流星24号発行(武地)
- 12/28 : 関西地区忘年会(神戸元町/東亜食堂にて:中原、橘、木庭、山崎、中西、計5名))
- 12/30 : 餅つき会(徳尾モータースにて:現役との交流、OB若干名)
- 平成25年 1/ 12 : OB会関東地区新年会(親睦会)(新橋/鳳龍クラブにて:岩本(博康)、廣田、木村、門司、佐藤(久雄)、中西、武地、早田、榎本、石野田、近藤、網田、太田、淵上、津曲、安倍、松本、計17名)
- 1/ 26 : **【平成25年(第7回)OB会総会】**(中部地区主催)第2回実行委員会開催
(愛知県刈谷市/Dスクエアにて:川越、河野、溝尻、永田、御領、小川、計6名)
- 3/ 23 : **【平成25年(第7回)OB会総会】**(中部地区主催)第3回実行委員会開催
(愛知県刈谷市/Dスクエアにて:川越、河野、溝尻、永田、御領、小川、計6名)
- 【下期活動報告】** (OB会員敬称略)
- 平成25年 4/14 : 部活動援助費送金⇒OB会会計から 円(武地)
- 5/16 : 総会準備費送金⇒OB会会計から 円(武地)
- 5/18-19 : ACKスプリングラリー(北九州) 2013JAF九州ラリー第2戦開催にOB・現役運営参画
- 6/15 : 関東地区のOB懇親会開催(品川)～尾崎様から借用の流星創刊号、他号回覧後HPへアップ～
(中西、武地、江頭、早田、西原、榎本、近藤、網田、太田、淵上、計10名)
- 6/15 : **【平成25年(第7回)OB会総会】**(中部地区主催)第4回実行委員会開催
(愛知県刈谷市/Dスクエアにて:川越、河野、溝尻、永田、小川、計5名)

- 8/17 : 第3回現役・OB交流会開催(九工大 学内C-2C)/懇親会開催
(現役 計9名/OB 伊東、藤田、山本、中西、白水、小川(洋)、山下(利)、福田、犬丸、石丸、桂、北垣、岩本(裕)、計13名)
- 8/31 : 【平成25年(第7回)OB会総会】(中部地区主催)第5回実行委員会開催
(愛知県刈谷市/Dスクエアにて:河野、溝尻、永田、御領、小川、計5名)
- 9/4 : 【メール役員会】「現役部活動援助費追加送付の件(承認伺)」
- 9/11 : 部活動援助費送金⇒OB会会計から 円(武地)
- 9/11 : 現役との交流会費送金⇒OB会会計から 円(武地)
- 9/13 : 【メール役員会】「副幹事(関東地区)及び現役交流担当役員追加の件」
- 9/26 : 【メール役員会】「平成25年度活動報告・平成26年度活動計画(案)の審議及び総会パンフ掲載資料の確認の件」
- 9/28 : 【平成25年(第7回)OB会総会】(中部地区主催)第6回実行委員会開催
(現地ホテル三河海陽閣にて:川越、河野、溝尻、永田、御領、小川、計6名)

第三回現役・OB交流会 報告

『部活動の活性化に向けて組織的、計画的に現役支援が出来る体制づくり』

OB会 現役交流担当 中西(50)

前年度に引き続き、2013年8月17日(土)、母校において現役とOBの交流会が首記テーマにて開催されました。

OBは、伊東幹事をはじめ九州地区のOBを中心に13名、現役は、9名で出席者は合計22名でした。

交流会は、茶堂OB担当(2回生)が進行役となり、先ず当日資料に基き「自動車部の現在の活動」、「部員数増加」、「SA車(ナンバー付き車)の所有」、「予算・決算報告」等について説明がありました。

次に今回のテーマである「これからの部活動の活性化に向けた人的支援、資金支援体制をどうしていくか!」について活発な意見が出され、色々な課題はあるものの中身の濃い充実した交流会となりました(次項参照)。

概要は下記通りです。

1. 日時 平成25年8月17日(土)
13時30分～17時00分
2. 場所 九州工業大学 学内C-2C
3. 議題
 - ①現役による活動実態・課題改善等の説明(活動内容、会計収支現状、今後の課題改善プラン等)
 - ②人的支援体制:北九州を中心とした九州地区OBの指導・支援体制について

③資金支援体制:計画的援助費募金・基金について

④その他(現役との情報交流について)

- ・部員とOBとのつながりを深める
- ・情報提供(練習車・部車用譲れる、売れる車の情報など)
- ・KIT-AC連絡網と就職後の連絡先情報整備について

場所を懇親会場に移し、世代を越えた現役とOBの気さくな親睦の場として盛り上がりました。皆様、大変お疲れ様でした。

【出席者(敬称略)】

(OB)

伊東(44)、藤田(44)、山本(46)、中西(50)、白水(57)、小川(59)、山下(H1)、福田(H3)、犬丸(H17)、石丸(H18)、桂(H20)、北垣(H22)、岩本(H23)

(現役)

原(4回生)、坂元(4回生)、穴井(3回生)、久原(3回生)、茶堂(2回生)、福田(2回生)、谷口(1回生)、吉岡(1回生)、平田(1回生)

現役支援・交流「人的支援/資金支援体制」について

事務局、現役交流担当 中西(50)

2013年10月26日、27日に中部地区のご尽力により開催されました第7回OB会総会を成功裏に運営されました。実行委員会の皆様にご報告申し上げます。ほぼ1年間の準備期間、お疲れ様でした。

兼ねてより懸案事項でありました現役支援・交流のあり方について過去3回の現役交流会を通して、部活動の取組み姿勢・活動環境や現役が抱える問題を明らかにして、その解決方法を検討して参りました。

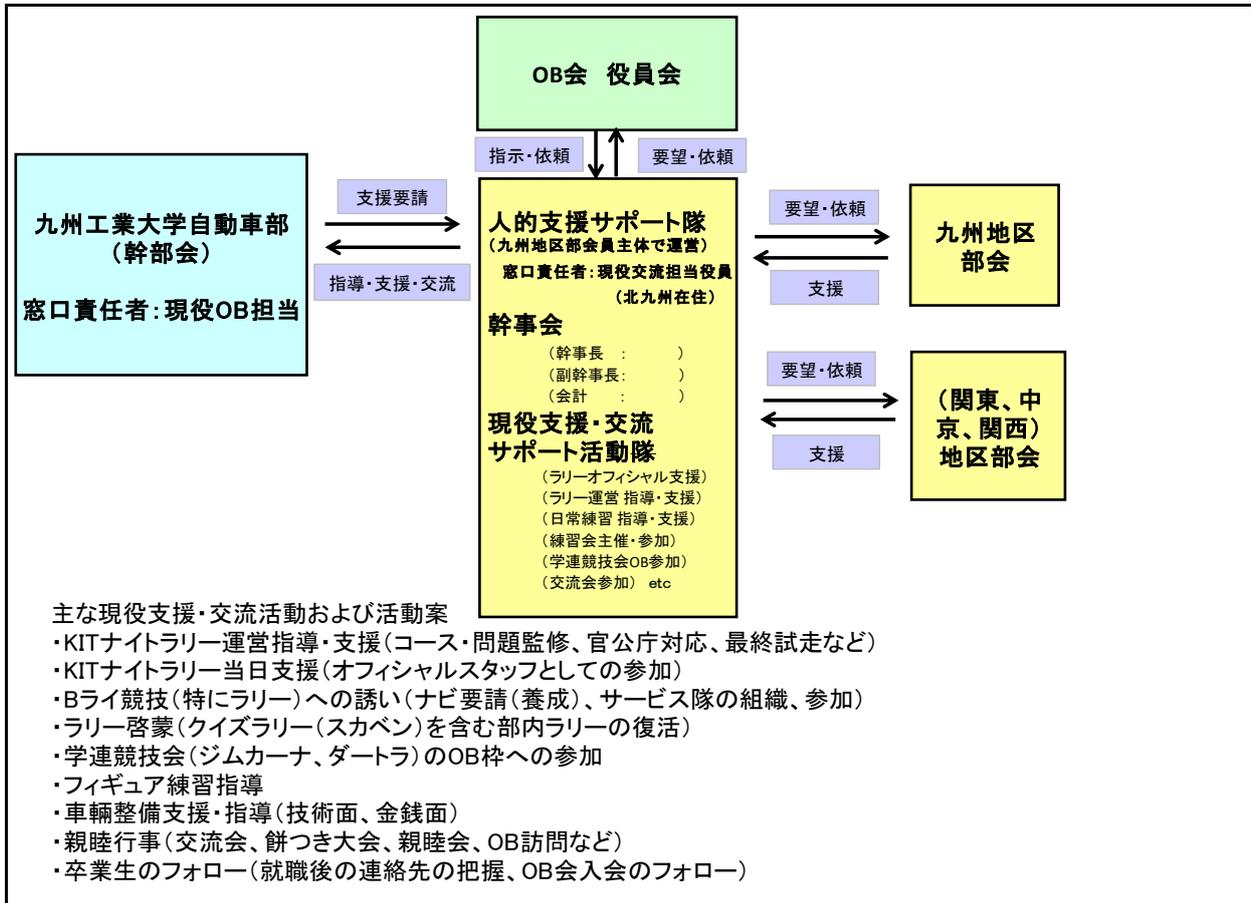
この度、具体的に「現役支援・交流実施要領」という形で取りまとめ、先の役員会で基本的なあり方として承認されましたので皆様にご報告致します。

別紙「現役支援・交流実施要領」、「現役支援・交流 人的支援体制」をご参照下さい。

今後は、OB会の一つの目的であります”本会は、現役自動車部の発展に寄与すること”に向けて運用しながら、あるべき状態に運営されるよう改善していきたいと考えますので皆様のご協力をお願い申し上げます。 以上

現役支援・交流 人的支援体制

現役交流担当: 山下(利)/中西



現役支援・交流実施要領

【本要領の方針】 『部活動の活性化に向けて組織的、計画的に現役支援・交流が出来る体制づくりを目指す』				最終改訂：2013年10月20日 作成：2013年10月5日 現役交流担当：山下/中西
支援区分	No.	項目	内容	特記事項
人的支援 ※資料1-①「現役支援・交流人的支援体制」参照	1	目的	現役の部活動においてOBが日常的並びに定例的活動の指導、支援を通じて、現役の部活動の質向上とOBとの連携・交流強化を図ることにより部活動の活性化を図る。	
	2	窓口責任者	①OB会窓口：北九州在住の現役交流担当役員 ②現役窓口：現役OB担当 ※本実施要領の初代窓口責任者は、特記事項の通り。	①H25年10月26日時点 ⇒山下（現H1） （※H25年9月20日メール役員会で推薦） ②H25年度 ⇒茶堂（2回生） （敬称略）
	3	支援・交流活動	①ラリー運営指導・支援 ②ラリーオフィシャル支援 ③日常練習指導・支援（フィギュア、整備、その他） ④練習会主催・参加（クイズラリー、ラリー練習会、ジムカーナ・ダートラ） ⑤学連競技会OB参加 ⑥交流会開催参加 ⑦JAF競技会への参加支援（ナビゲーター要請、サービス隊の組織・参加）他	
	4	サポート隊	①窓口責任者の現役交流担当役員が中心となり、北九州地区部会員有志で、幹事会を設ける。 ②幹事会を中心に地元OBサポート隊を構成し、支援・協力のサポート隊連絡網を作成する。 ③連絡網は、毎年年度末に更新する。 ④原則として、サポート隊の役割分担計画を決める。	
	5	OBへの支援・指導要請	①定期、非定期に開催するイベント時は、OB会窓口責任者が現役の窓口となり、サポート隊役割分担計画に基づき対応可能なOBへ協力を要請する。 但し、日常的な活動の支援・指導等、軽微なものは、直接、現役窓口からサポート隊連絡網のOBへ依頼する。	
資金支援	1	目的	部活動援助費としてOB会から拠出し、資金支援を行うことにより、継続的、安定的な部活動が行われるようにする。	
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			
	7			

平成26年度活動計画(H25/10-H26/9)

OB会 事務局 中西 (50)

- 【上期活動計画】** (OB会員敬称略)
- 平成25年 10/6 :【平成25年(第7回)OB会総会のご案内】(中部地区主催)参加者へ最終資料配付
 10/19-25 :OB会総会パンフ印刷・作成(中部地区)
 10/26 :【総会前役員会】”定例総会時役員会審議事項一覧”
 10/26-27 :【平成25年(第7回)OB会総会】開催(中部地区主催)
 11/9-10 :第51回KITナイトラリー現役支援(JAF公認九州Jr.シリーズ)
 12/中 :流星25号発行
 12/下 :餅つき会(現役との交流)
- 平成26年 3/末 :部活動援助費上期分(H25.10.1~H26.3.31カンパ分)一括送金(限度額あり)

- 【下期活動計画】** (OB会員敬称略)
- 平成26年 4/上~9/下 :現役との交流会費拠出
 4/上~9/下 :現役との交流会開催
 4/上~5/下 :ACKスプリングラリー(北九州)開催にOB・現役運営参画
 8/中~9/下 :【平成27年(第8回)OB会総会】(関東地区主催)開催準備(キックオフ)
 9/末 :部活動援助費下期分(H26.4.1~H26.9.30カンパ分)一括送金(限度額あり)

役員		(総会承認役員人事) 【平成25年10月26日以降】 (H25/9/20、メール役員会での承認人事)			特記事項
会長		木村		36)	留
副会長		木庭		43)	留・兼
副会長					
九州	幹事	伊東		44)	留
	副幹事	山本		46)	留
	副幹事	柴田		45)	留
関西	幹事	木庭		43)	留・兼
	副幹事	山崎		49)	留
中京	幹事	川越		47)	留
	副幹事	河野		49)	留
	副幹事				
関東	幹事	門司		37)	留
	副幹事	宮崎		39)	留
	副幹事	坂井		52)	新
事務局		中西		50)	留・兼
会計		武地		151)	留・兼
会計監査		田中		45)	留
会誌担当		武地		151)	留・兼
名簿担当		松元		55)	留
名簿担当		西原		54)	新
現役交流担当		中西		50)	留・兼
現役交流担当		山下		H1)	新
HP担当		近藤		54)	留

①新名簿担当の西原氏については、前定期総会時の役員会では承認されましたが、本総会での総会承認対象者です。
 ②新副幹事の坂井氏、新現役交流担当の山下氏については、H25年9月20日、メール役員会で承認されましたが、本総会での総会承認対象者です。

OB会 25年度会計報告、監査結果、26年度予算(案)

OB会 会計 武地(51)

下表のとおり平成25年度会計報告が、平成25年10月26日のOB会総会で承認されました。

24. 10. 1~25. 9. 30

収入	金額	支出	金額
前期繰越		振替手数料	
会費		総会準備費	
部活動援助費		流星25号印刷費	
OB会カンパ		同 郵送代	
		事務費、通信費	
		交通費	
		現役との交流会	
		部活動援助費	
		26年度へ繰越(口座残高)	
合 計		合 計	

会計監査報告

会計監査 田中(45)

今年度の自動車部OB会 会計に関する帳票・領収書などの精査をしました。
決算報告は、適法・適正に処理されていました。

会 計 監 査 報 告 書

平成25年10月5日

明専・九州工大自動車部OB会
会長 木村 殿

平成25年10月5日 明専・九州工大自動車部OB会 会計に関する
帳票・領収書などを精査しました。その結果平成 25 年度の
決算報告については、適法・適正に処理されていることを確認しました。

以上報告いたします。

会計監査 田中 

平成26年度OB会予算案

以下の予算案が、平成25年10月26日のOB会総会で承認されました。

平成26年度予算案

平成25年10月1日～平成26年9月30日

行事

平成25年12月 流星26号発行

平成25年12月 現役交流会

(円)

収入	金額	支出	金額
25年度繰越		振替手数料	
会費		現役交流費	
現役部活動援助費		流星印刷費	
OB会カンパ		同 郵送代	
		事務費、通信費	
		現役部活動援助費	
		[費用小計]	
		27年度への繰越	
小計		小計	

説明

【収入の部】

- 会費
- 援助費(収入)
- OB会カンパ; 平均値とした

【支出の部】

- 振替手数料
- 流星印刷費、郵送代
- 事務費、通信費
- 現役部活動援助費

OB会 会費、部活動援助費、OB会カンパ振込状況

皆様のご理解ご協力に感謝します。

平成25年度 会費など振り込み状況

*: 会費は2年分を一度に払う。昨年度払い済み

No	口座月日	科	年	氏名	会費	部活援助費	OB会カンパ
1	2012/11/2		45	田中	¥2,000	¥5,000	-
2	2012/11/26		50	中西	¥2,000	¥4,000	¥2,000
3	2012/12/11		36	木村	¥2,000	¥6,000	¥2,000
4	2012/12/25		44	熊本	支払済 *	¥2,000	-
5	同上		54	早田	支払済	¥3,000	¥2,000
6	同上		49	佐藤	¥2,000	-	-
7	同上		37	木村	¥2,000	-	-
8	同上		H8	小西	¥2,000	¥2,000	¥1,000
9	同上		46	山本	支払済	¥1,000	¥1,000
10	同上		48	平松	¥2,000	-	¥3,000
11	2012/12/26		46	鞍馬	支払済	¥5,000	-
12	2012/12/27		33	林田	支払済	¥3,000	¥2,000
13	同上		46	中野	支払済	¥5,000	-
14	同上		29	廣田	¥2,000	¥2,000	¥2,000
15	同上		39	吉武	¥2,000	¥1,000	¥1,000
16	2012/12/28		33	嘉村	支払済	¥1,000	¥1,000
17	2013/1/7		43	山本	¥2,000	-	-
18	同上		57	尾辻	¥2,000	¥2,000	¥1,000
19	2013/1/8		H17	犬丸	支払済	¥10,000	¥2,000
20	2013/1/9		59	大井	支払済	¥5,000	¥5,000
21	同上		50	牛島	¥2,000	-	-
22	2013/1/11		24	岩本	¥2,000	-	¥1,000
23	同上		42	芳賀	支払済	¥2,000	¥2,000
24	2013/1/15		58	高橋	¥2,000	-	-
25	2013/1/16		23	紀田	支払済	¥5,000	¥5,000
26	2013/1/18		29	山田	¥2,000	-	-
27	2013/1/24		48	高見	支払済	¥1,000	¥1,000
28	2013/1/25		54	山下	支払済	¥3,000	-
29	2013/2/4		55	太田	¥2,000	¥4,000	¥4,000
30	2013/2/18		58	前田	¥2,000	¥2,000	¥1,000
31	2013/2/19		55	光成	¥2,000	¥2,000	¥2,000
32	2013/2/22		31	河相	¥2,000	-	-
33	2013/3/1		59	稗田	¥2,000	-	-
34	2013/3/6		28	八木	¥2,000	¥5,000	¥3,000
35	2013/3/7		40	橋 i	¥2,000	¥2,000	¥1,000
36	2013/3/8		43	木庭	支払済	¥5,000	-
37	2013/3/11		59	津曲	¥2,000	¥2,000	¥1,000
38	2013/4/15		36	飯田	支払済	¥5,000	¥5,000
39	2013/5/23		31	古場	¥2,000	¥1,000	-
40	2013/6/9		51	武地	支払済	¥2,000	¥3,000
41	2013/7/11		41	西岡	¥2,000	-	-
42	2013/7/12		50	溝尻	¥2,000	¥10,000	
		小計			¥52,000	¥108,000	¥54,000
			平均		¥1,238	¥2,571	¥1,286

平成 25 年(第 7 回)OB 会総会(中京地区開催)



- 準備委員コメント -

中京地区幹事 総会準備委員長 川越(47)

総会を企画し、何とか開催できました。これは中京地区の実行委員会の6人の皆さんがそれぞれ責任を持って、やってくれたからだと感謝しております。

開催にあたっては、台風の接近が何よりも不安でした。目玉の新城ラリーが開催されるのか？

新幹線など交通は大丈夫か？など水曜日までは本当に不安でした。が当日は台風はそれ、いい天気。欠席者もなく、しっかり開催できました。ほっとした次第です。

2年後は関東地区のみなさん 大変ですが、よろしく願います。了

中京地区副幹事 河野(49)

総括的には、各人がヴォランティア精神で集まり、チームワーク良く、役割を決めて計画実行をした。

- ① 1年くらい前から、準備に入った。
6名の準備委員で計画実行を行った。合計10回くらいの会合。
- ② 書記が即日、議事録を取り、やることを明確にして進めた。
- ③ 打合せ後、当日に、次回の打合せ日・中味を決めた。
- ④ 役割分担を行い、大日程計画に基づき、進めた。

⑤ 現地現物の重視。： 宿泊旅館、ラリー会場、ゴルフ場、他早めに、現地確認を行った。

⑥ きめ細かなフォローと情報公開を担当の小川君がよくやった。

また、総会当日に感じたこと。

i. 総会前の役員会は、時間が必要。

本音や学生への援助方法などのまじめな議論。

ii. 役員の手化と強化： 事務局 中西さん

会計 武地さんはじめ、役割が明確になり、強化された。事務局・会計 他： 7名の方。

今後は頼もしく感じた。 了

中京地区 永田(52)

8年前の総会では直前に出張となってしまう、みなさんにご迷惑をかけてしまいました。

今回の総会では直前での台風接近など気をもむことがありましたが、総会を無事終えてホッとしました。

翌日の新城ラリーは地域とともにやるモータースポーツとなっており、これにも感激しました。

諸先輩、後輩との交流を継続できるようにOB会を盛り上げていければと思います
皆様のご協力に感謝します。

中京地区 溝尻(50)

「文字通りの台風一過の好天に恵まれ、無事に終了して一安心」が率直な感想です。

川越さんから声を掛けてもらい、準備委員会への参加でしたが、貢献度は今ひとつかなと反省してい

るところです。

個人的には、72-75年在学当時のメンバー皆さんとの久しぶりの再会で、30数年前に一気にタイムワープ出来た貴重な時間に感謝しています。

新城ラリー・・・

中京地区 会計 御領(63)

OB会総会の翌日、新城ラリーへギャラリーに行かれた方々の中には、久しぶりにラリーを目の当たりにされた方も多かったと思います。今回は、全日本選手権に加え、地方選手権、TRD チャレンジも同時開催、海外から有名ドライバーもゲストで走るなど、特に大きなイベントでした。

新城ラリーは、2004年に規制緩和の波に乗って、DOS(Do Outdoor Sports)の名の下、新城市の活性化を図るため、新城ラリーの主催者である、モンテカルロオートスポーツクラブと市が協力して、中部・近畿地方選手権として始まりました。10回目を迎える今年は、メイン会場を昨年までの桜淵公園から新城市総合運動公園に変えて、林道ではない、スーパースペシャルステージ(みなさんがご覧になったコース)を設定するなど、全日本ラリーの中でも、ギャラリーを多く集めるイベントに成長してきました。

『チェッカー！』、『あと5秒しないとファイナルは出ない！』、『じゃ、このまま行くぞ！』とタイガー計算機や円盤を使って、真夜中に、車の中で叫びながら、部内ラリー・計算ラリーに参加されていた方には、日本のラリーも大きく変わったことを実感されたと思います。

私も、初めて部内ラリーで先輩のA73ランサーの後席でロールバーにつかまってダートを走った時の感動は、今でも忘れません。以降、95年にドライバーとして初めてラリーに出るから、98年以降はナビゲータを続け、今年まで、100戦を超えるラリーに出てきました。

その間には、ノーマル車両規制、市道・県道でのハイアベレージ走行・SSでの走行禁止等、参加者にも主催者にもハードルが課せられた形となり、『日本のラリーはもう・・・』という声が上がった頃もありました。しかし、世の中の変化に応じて、FR車からFF・4WD車へ、未舗装の道が少なくなり、ダートのラリーから舗装のラリーへ、また、スポーツ性を高め、安全に走行するため、ハイアベレージ走行からペースノットを使ったSSへ変化し、そして何よりもラリーを続けたいという人達のおかげで、それぞれの時代でそれぞれのラリーが続いて来ました。

参加台数が20年ほど前のように多いわけではありませんが、今後も衰退することなく、日本のラリーが続いていくことを願うとともに、参加者・主催者としても出来るだけラリーを続けていくつもりです。(当日は、地方選手権参加後、総会の途中から参加させて頂きました。) 了

中京地区の皆様へ(総会幹事へお礼)

関西地区副幹事 山崎(49)

今回は総会も、明トラ大会も楽しく過ごさせて頂くことができありがとうございました。

久しぶりに懐かしい方々と様々な話をすることができ、三河湾を見ながらゆっくり温泉につかることもできました。又、翌日の新城ラリー会場でのデモ走行、SS部分は会場の環境もよく、雰囲気も含め本当に貴重な思い出となりました。(冥土へのいい土産ができた大変喜んでおります)

初めて参加した8年前は愛知万博の見学ができ、よかったなと思いましたが、今回の新城ラリー観戦は、より素晴らしいと思えました。アレンジ本当にありがとうございました。

少ない人数で準備等々、色々のご苦労されたと思いますが台風の影響も殆どなく、無事終わって本当に良かったと思います。中部地区の皆様にご心より御礼申し上げます。

では、2年後に関東でお会いしましょう。取り急ぎお礼方々、連絡させていただきます。

追って、もう一つ、OB会に参加して良かった事を言

い忘れていましたのでしつこいですが、連絡します。

参加者の皆さんから「元気・パワー」をもらえることです。ほんの一例ですけど、

川越さん:64歳ですがまだまだ大活躍されていること。

河野さん:明専会の理事となり我々のお世話を尽力してもらっていること。

小川さん:40代後半でフルマラソンを2時間半で走っていること。(凄い!!)

三好さん、藤嶋さん他の方々:40代でまだまだ現役でラリーに出場していること。

白倉さん:8年前に脳梗塞で倒れたが快復して63歳まで勤務予定とのこと。

60代前半の方々:本年4月から65歳定年制に変更されたため、働いている人が多いこと。

私は62歳ですが、もっと頑張ってお生きてゆかねばと思った次第です。皆さんに元気をもらい本当に参加して良かったと思います。では、宜しくお願いします。了



中京地区で今回総会の準備に活躍いただいた小川(63)さんが、勤務先のデンソー技術会会報 Sandpit 2013年11月号にご自分の趣味「マラソン」について、科学的分析を含めた寄稿をされました。皆様への参考になると思い、本誌への掲載の許可を取っていただきました。ランニング初心者へのアドバイスもあり、読まれた皆さんは、きっと運動したくなると思います。



よくわかるシリーズ②

単純だけど奥深いスポーツ、マラソン

総研 研究3部32室 小川

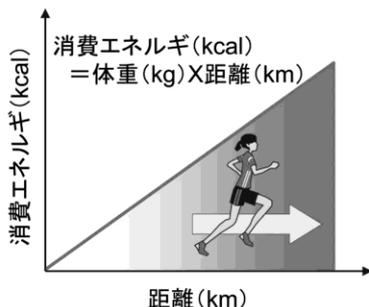
はじめに

高橋尚子選手や野口みずき選手のオリンピックでの活躍、また健康志向の高まりから、最近のマラソンブームには目を見張るものがあります。東京マラソンに至っては申し込みの倍率が10倍以上という盛り上がりです。私もマラソンブームに火が付く少し前の2001年から走り始め、ランニング雑誌を読んだり、自分自身の経験からそれなりにランニングに関する知識を身に付けてきました。デンソー技術会の会報であるSandpitに相応しいハイテクな内容はあまりありませんが、なるべく科学的な要素を入れることで、少しでもマラソンに興味を持って頂ければ幸いです。

マラソンの科学

(1) 消費エネルギー

ランニングに要する消費エネルギーを計算する方法は、1kg、1km、1kcalと覚えると簡単です。例えば、体重60kgの人が10km走ると600kcalの消費エネルギーとなります



【図1】ランニングと消費エネルギー

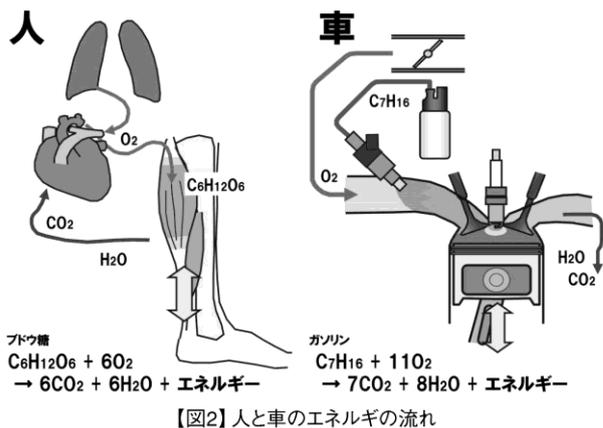
【図1】。フルマラソンの場合、42.195kmを

走るわけですから、およそ2500kcalのエネルギーが必要となります。一方、すぐに消費できる形で体内に蓄えられているエネルギーはグリコーゲンというブドウ糖がいくつも連なった構造で筋肉や肝臓に蓄えられています。その貯蔵量には制限があり、通常1800kcalくらいと言われています。フルマラソンの距離に換算すると30kmくらいでグリコーゲンは枯渇する事になります。これが俗に言う30kmの壁と言われる現象で、車のガソリンが切れたかの様に見事に失速します。これを避けるために一流選手ではスペシャルドリンクでエネルギーを補給します。一般ランナーではスペシャルドリンクは置けませんのでレース途中のエイドでの補給食や、スタート前に炭水化物などの消化の良いものを取る必要があります。

(2) エネルギーの流れ

運動に要するエネルギーの流れを自動車にたとえて説明します。前に述べましたように、筋肉にはグリコーゲンという燃料が蓄えられています。呼吸により肺から吸収された酸素は血液に乗って筋肉に供給されます。筋肉ではグリコーゲン

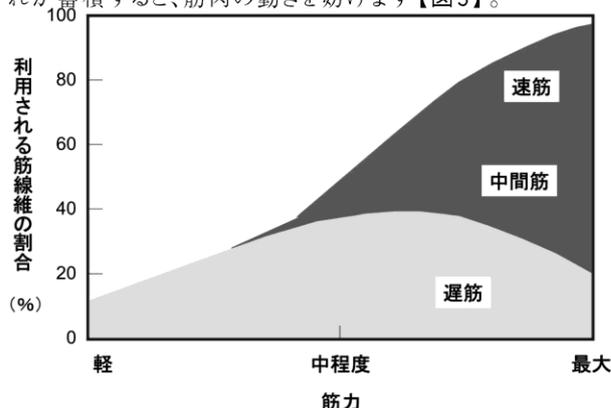
がブドウ糖に分解され、酸素と反応して二酸化炭素と水、そして筋肉を収縮させるためのエネルギーが発生します。さしずめ筋肉が自動車というエンジン、心臓はフューエルポンプ、血管は空気を送るスロットルバルブ?に相当します。早く走るためにはいずれの機能もトレーニングで鍛える必要があります。トレーニングの進んだランナーは酸素を送るための毛細血管が発達していますし、一回の脈拍で送る血液量も多く、さらに最大心拍数も高くなります。もちろん体脂肪も少なく軽量化されたボディで、まさにレーシングカーの様なスベックになっています【図2】。



【図2】人と車のエネルギーの流れ

(3) レース距離と心拍数

筋肉の運動を2つに分けると有酸素運動と無酸素運動に分かれます。有酸素運動は酸素を送りつつ小さな力ながら持続的に続けられる運動で、遅筋という筋肉繊維がこれを受け持ちます。無酸素運動は短時間に大きな力を出しますが、持続性の悪い運動で、速筋がこれを受け持ちます。運動強度を徐々に上げていくと、有酸素運動から、酸素の供給が筋肉の需要に追いつかず、無酸素運動の比率が上がってきます。無酸素運動は乳酸という疲労物質を出し、これが蓄積すると、筋肉の動きを妨げます【図3】。

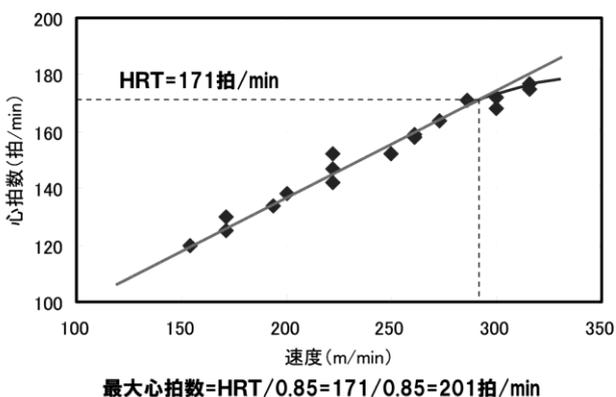


【図3】負荷と筋線維

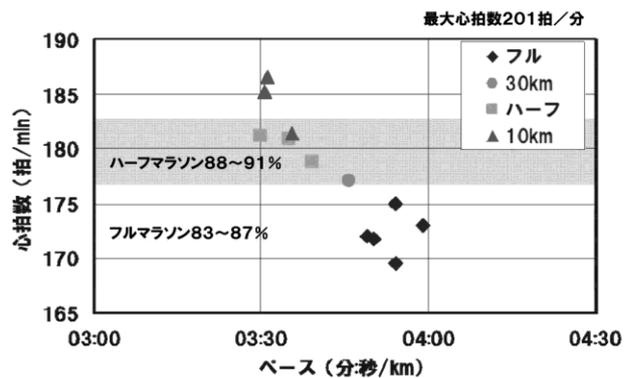
マラソンの運動強度は、有酸素運動と無酸素運動が混じり合った運動です。最も早くゴールまでたどり着くためには、乳酸を溜めつつも持続可能な適切な運動強度で走る事が重要になります。運動強度を推定するには心拍数が目安になります。丁度、エンジンのタコメータに相当し、最も効率的な負荷の回転数(心拍数)をキープしながら走れば途中の失速も無く、エネルギーを無駄に残す事無くゴールする事ができます。適切な運動強度はレースの距離毎に変わります。短い距離なら高い運動強度で走り切れずし、長い距離では運動強度を低くする必要があります。

実際の運動強度と心拍数について見ていきます。運動強度はその人の最大心拍数に対する比率で示すことができます。最大心拍数は心拍数が最大になるまで激しい運動をすれば到達しますが、実際やってみるとどこが最大か見極めるのが大変です。そこでコンコーニテストというものがあります。400mトラックで100m毎にLAPを2~3秒ずつ上げながら心拍数を測定し、もうこれ以上上げられないところまで記録します。横軸にスピード、縦軸を心拍数にしてグラフにすると、スピードに比例して心拍数は上がって行きますが、ある所から上がり方が鈍くなります。このポイントが有酸素運動と無酸素運動の境目であり、HRT(心拍性作業閾値)というポイントです。このHRTは最大心拍数のおよそ85%とされているのでHRTを0.85で割れば最大心拍数を推定できます。この最大心拍数を基準にフルマラソンでは83~87%、ハーフマラソンでは88~91%、10kmでは90~93%くらいの心拍数が目安となります。

参考に、私のコンコーニテストの結果と、上手く走れたレースのペースに対する平均心拍数をプロットしたデータを示します【図4】、【図5】。このデータを測定したのは39歳の頃で、フルマラソンで漸く3時間以内で走れるようになったくらいのレベルでしたが、レース距離と心拍数の関係は上記の目安とはほぼ一致していました。



【図4】コンコーニテスト



【図5】レース距離と心拍数

マラソンのすすめ

ここまである程度トレーニングを積んだランナーがマラソンを走る場合の理屈的なところをお話してきました。ここからは初心者の方でも役に立つ知識をご紹介しますと思います。

(1) 体重管理

ランニングを始めようとするきっかけはダイエットという方が多いのではないのでしょうか?しかし、太ったままでいきなり走り始めると故障しやすいため、ある程度体重を落とす必要があります。目安として、BMI(=体重(kg)÷(身長(m))の2乗)が25を超える様であれば、まずはウォーキングから始める事をお勧めします。ウォーキングでの消費カロリーもランニング同様、体重×距離です。

体重は、消費カロリー>摂取カロリーにすれば確実に減少していきます。消費カロリーは基礎代謝+運動によって燃やされるエネルギーです。たとえば脂肪1kgは約7000kcalです。これをランニングで消費するには、冒頭の消費エネルギー計算から、60kgの人でも100km以上走る必要があります。何日かに分けて燃やしましょう。

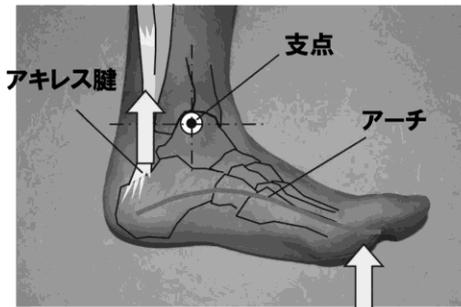
一方、摂取カロリーは食事から計算できます。カロリーを計算するのが面倒な人は、だいたい体重が一定になる食事量と運動量を覚えておいて、晩ご飯のご飯一杯を減らせば、摂取カロリーは約250kcal減となります。仮に1日250kcalずつ脂肪を減らして行けば28日で1kgの減量ができます。目標を立ててグラフに体重をプロットしながら減量すると意外なくらい計算どおりに体重が減って行きます。尚、体重はランニング直後に汗をかいて一時的に減った状態で測定してもあまり意味はありません。減らしたいのは水分ではなく脂肪です。

(2) シューズ選び

シューズの重要な機能は衝撃吸収力と曲げ剛性です。着地時の衝撃は体重の3倍もの荷重がかかるといわれています。足に加わる荷重は着地から蹴り出しにかけて踵から

つま先に移動します。蹴り出しの瞬間は足のアーチの部分に大きな負担がかかるので、ソール部の補強材が強い程、負担を軽減できます。初心者の方はソールが厚く、曲げに対する反発力の強いシューズを選びましょう。

一方、膝やアーチの強化されている上級者がレースで使うシューズは、軽量化を優先してソールは薄く、補強も簡素なものが使用されます【図6】【図7】【図8】。



【図6】アーチ



【図7】ソールの厚さ



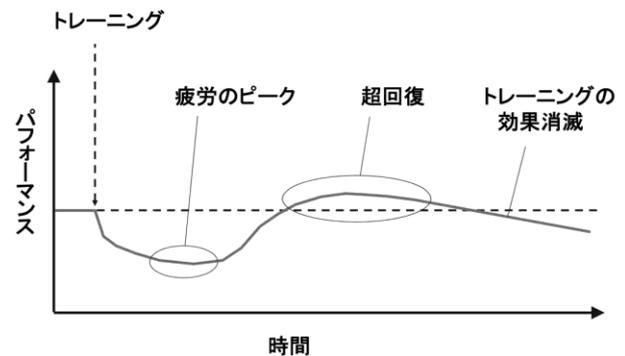
【図8】ソールの補強

(3) トレーニング方法

ランニングというと顔をしかめてシャカリキに走るイメージを持っている方も多いと思います。有酸素運動という面では先に述べましたHRT以下の心拍数での運動、特に健康維持、ダイエットの目的からは最大心拍数の60~70%くらいの負荷が有効です。前述のコンコーネテストをすれば自分の

最大心拍数を知る事ができますが、初心者の方には面倒だと思います。そこで最大心拍数の簡単な求め方として220-年齢という式を使います。たとえば40歳の方なら220-40=180拍/分、その60~70%は108~126拍/分です。また、脈拍の測り方は運動直後に15秒間脈を取り、4をかける方法が簡単です。実際その心拍数で走ってみるとわかると思いますが、意外と楽なペースです。脈拍を測るのも面倒な方は、ニコニコ笑いながらお喋りをできるくらいのペースと言ったらわかりやすいかもしれません。

ランニングを始めて暫くの間は上記のようなジョギングで十分です。そのうちもっと速く走りたいとか、もっと長い距離を楽に走りたいかと思うようになってきます。その場合、少々頑張る事が必要になってきます。トレーニングとは細胞の破壊と修復の繰り返しです。細胞の修復には1~2日程度かかります。トレーニングをすれば一旦疲労してパフォーマンスは落ちますが、数日後には元より高いレベルになっています。これを超回復と呼びます。練習の基本はジョギングですが、超回復の原理で週に1、2回負荷の高いトレーニングを積み重ねるとランニングの能力は向上していきます。負荷の高いトレーニングの周期を短くし過ぎると効果が少ないばかりか、疲労が蓄積して故障に至る場合もありますのでご注意ください【図9】。



【図9】超回復

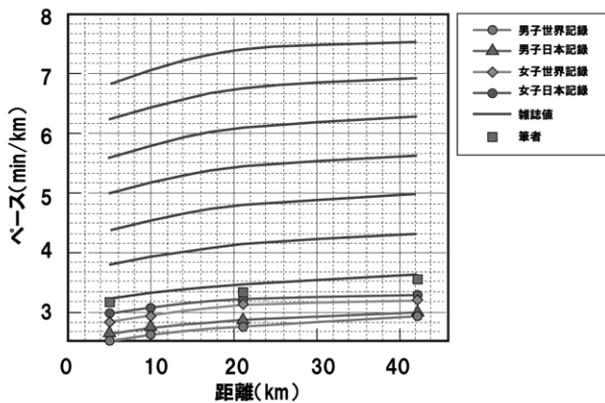
(4) ランニングフォーム

人によって骨格や癖も違うので、このフォームがベストというものは無く、自然に走るフォームが良いと思います。しいて言うならば姿勢を正すこと。これは背骨を伸ばす事で骨盤が前傾し、足の可動域を後ろに大きく取れるので動きがスムーズになります。また腹筋などの体幹の大きな筋肉を使うと楽に早く走れるようになります。体幹の筋肉は意識しないと使えませんが、使おうとしてもどうやったら使えるのかわからないと思います。道路に白線がある時など一本線上に足を運んでみて下さい。左右の足を一直線上に運ぶことでいやでも体を捻る事になります。この運動が体幹の筋肉を使う練習になります。

(5) 目標設定

ランニングを始めていきなりフルマラソンに挑戦するのはやや無謀だと思います。始めは10kmくらいの短めのレース

を1年に何本か走り、ハーフマラソン、フルマラソンとステップアップする事をお勧めします。レースに出る時はゴールタイムの目標を設定しましょう。最初のレースは見当も付かないかもしれませんが、2本目、3本目になると前回の結果を基準にしてどれくらいのタイムを狙うか目標が設定できると思います。前回のタイムより少し速いタイムを狙いましょう。そして1km毎のラップを計算し、イーブンペースで走りましょう。10kmのレースを何本か走った後に、ハーフマラソンなどの距離の違うレースに出る場合は、同じレベルの人が違う距離を走った場合のペースの相関があります。その相関から推定されるタイムの少し上を狙った目標タイムを設定しましょう【図10】。



【図10】レース距離とペースの相関

(6) いろいろなランニング

ここまでレースについて説明してきましたが、ランニングの楽しさはレースだけではありません。たとえば家の近所のランニングコースを決めて日々走っていると、季節によっていろんな花が咲いていたり、いろんな動物と会えたりします。いつも自動車では通る道でも自分の足でゆっくりと走ると見過ごしていたいろんな事に気付くでしょう。仲間を誘ってリュックを背負って少し遠くまで走ってみるのも楽しいものです。目的地は温泉のある所がお勧めです。ビールが飲めれば最高です。旧東海道や旧中山道など歴史を辿っていくのも面白いです。最初は2、3kmくらいしか走れないと思いますが、人間とはすごいもので、トレーニングさえすれば考えられないくらいの距離を平気で走れるようになります。フルマラソンを完走する人は決して特別の人ではありません。

終わりに

走り始めたきっかけは35歳の時、ご他聞に漏れずメタボが気になってきた事からでした。2001年の正月から一念発起走り始め、最初は10kmが完走できか不安でしたが、近場のマラソン大会で何とか完走。走るたびに記録が伸びて行くので面白くなり、どんどん深みにはまっていきました。今では

月間走行距離は400km~500kmくらいに達します。普段通勤で車を使わないので自動車の走行距離より、足で走る距離の方が多いくらいです【図11】、【図12】。



【図11】走る仲間と(筆者は先頭、左から6番目)

〈ベスト記録〉

フルマラソン:2時間30分15秒(45歳)
ハーフマラソン:1時間10分25秒(45歳)
5000m:15分49秒(45歳)

昨年(47歳)はシーズン直前に故障してしまったため自己ベストの更新はなりませんでした。まだまだ記録を伸ばしたいと思っています。特に福岡国際マラソンでは43歳以降4回連続、2時間30分台でわずかに2時間30分を切れずに涙を吞んでいます。日本最古の歴史あるびわ湖マラソンの出場資格が2時間30分以内なので、何とか50歳になる前にびわ湖マラソンに出場する事を目標に夜な夜なトレーニングに励んでいます。



【図12】レース写真(中京大土曜競技会)

- 会員名簿 -

会員名簿は個人情報になりますので、お取扱にご注意をお願いします。

住所が空欄の方は、連絡方法がありません。ご存知の方が居られましたら、ご本人様に、流星担当 武地(最終ページに住所、Email アドレス掲示)に連絡いただくとよいとお伝え願います。住所は、流星の配布やOB会からのご連絡に使います。住所の記録がある方でも流星が返送されます。皆様も連絡先変更をご連絡いただくと幸いです。また、郡・市も掲載を希望されない方はお申し出下さい。住所欄を見えないようにします。

九州工業大学会 黄善会 自動車部OB会名簿

卒年	氏名
17	豊田
18	芳賀
18	馬場
21	渡辺
22	石飛
22	上妻
22	田辺
23	青木
23	大田
23	大野
23	紀田
23	小林
23	坂本
23	舛谷
24	岩本
24	森山
25	島崎
25	白石
25	中野
25	別所
25	松尾
26	窪山
26	塚田
28	島 正
28	山田
29	城 隆
29	廣田
29	山田
30	中島
30	渡邊
31	河祖
31	古場
32	楠田
32	丸山
32	安光
33	池田
33	柏木
33	嘉村
33	久保
33	齋藤
33	中村
33	古屋
33	松吉
34	塩谷
34	白橋
34	富田
35	信国
35	進藤
35	山口
36	飯田
36	香月
36	木村
36	佐伯
36	谷岡
36	久富
37	小野
37	木島
37	木村
37	門司
37	山田
38	犬塚
38	栗本
38	高橋
38	花田
38	藤本
38	益田
38	宮原
39	小宮

卒年	氏名
39	砂本
39	高宗
39	田中
39	常富
39	友永
39	中原
39	浜田
39	松本
39	三隅
39	宮崎
39	横田
39	吉武
39	米倉
40	石原
40	梅山
40	大庭
40	木田
40	橋 正
40	六代
41	Rustan
41	金児
41	甲村
41	西岡
41	山田
42	市丸
42	尾崎
42	片岡
42	加藤
42	谷口
42	芳賀
42	浜本
43	宇塚
43	木庭
43	進藤
43	高崎
43	長澤
43	中島
43	森永
43	山根
43	山本
44	伊東
44	井上
44	大本
44	小笠
44	掛水
44	熊本
44	鶴長
44	藤田
44	松原
44	渡辺
45	釘宮
45	坂本
45	柴田
45	田中
45	八木
46	鞍馬
46	佐藤
46	新開
46	中野
46	野見
46	檜原
46	福永
46	細川
46	山本
46	山本
46	古河
46	杉 正
47	安部

卒年	氏名
47	川越
47	鳥飼
47	濱田
47	森田
48	泡田
48	井上
48	大庭
48	小泉
48	高見
48	長尾
48	平松
48	古本
48	村上
49	河野
49	近藤
49	佐藤
49	時松
49	刀禰
49	堀川
49	宮本
49	山崎
49	山地
50	浅野
50	牛島
50	黒瀬
50	佐伯
50	首藤
50	田中
50	鳥越
50	中西
50	西 孝
50	晴田
50	畑中
50	溝尻
50	吉川
51	白倉
51	武地
51	武地
51	本吉
52	坂井
52	石田
52	坂井
52	嶋田
52	永田
52	中野
52	野瀬
52	房前
52	松本
52	的場
52	安永
53	江頭
53	政近
53	三浦
53	八木
55	網田
54	石野
54	倉地
54	國栖
54	近藤
54	坂田
54	三宝
54	西原
54	西村
54	早田
54	槇本
54	舛重
54	松岡
54	諸橋

卒年	氏名
54	山内
54	山下
54	四辻
55	石田
56	岩尾
55	太田
56	太田
56	大原
56	鳥原
55	孝橋
55	中村
55	福川
55	淵上
56	府内
55	松元
55	光成
56	石松
56	須藤
56	高須
56	徳永
56	平田
56	藤本
56	武藤
57	石井
57	大島
57	大野
57	尾辻
57	小野
57	川村
57	白水
57	中村
57	畠中
57	山口
58	浦田
58	片岡
58	島村
58	永井
58	廣田
58	前田
58	三原
58	森 じ
59	大井
59	小川
59	近藤
58	高橋
59	津曲
59	友田
59	長木
59	長沼
59	那須
59	稗田
59	平瀬
60	井上
60	小林
61	石井
61	一瀬
61	中村
61	福島
62	小嶺
62	近藤
62	貞邇
62	三角
62	生越
62	三好
62	諸岡
62	山田
62	山本
63	小川

卒年	氏名
63	柿木
63	御領
63	坂口
63	坂田
63	高以
63	永富
63	真島
H1	河野
H2	木戸
H1	黒田
H1	谷口
H1	鶴田
H1	永淵
H1	藤嶋
H1	古寺
H1	元木
H1	山下
H2	今泉
H2	高安
H2	藤井
H2	山崎
H2	渡辺
H3	須賀
H3	竹下
H3	林 じ
H3	福田
H4	内野
H4	公山
H4	白石
H4	宗雲
H4	谷尾
H4	山下
H4	山根
H4	山本
H4	吉住
H5	冢守
H5	紙谷
H5	松尾
H5	山口
H6	川口
H7	桂 じ
H7	原田
H8	岡 じ
H8	小西
H8	中沢
H8	渡邊
H9	小野
H9	篠崎
H9	鈴木
H9	宮城
H9	森若
H9	山本
H9	渡邊
H10	小早
H10	高橋
H10	遠山
H11	井手
H11	中村
H11	藤井
H12	岩本
H12	中本
H13	賀村
H13	山ノ
H13	渡邊
H13	柴田
H14	安部
H14	柴田
H14	松本

卒年	氏名
H14	森 じ
H14	石塚
H14	渡辺
H14	安倍
H15	石塚
H15	村井
H17	犬丸
H17	西本
H17	西野
H17	田口
H18	延原
H18	石丸
H19	徳永
H19	泥谷
H19	藤川
H20	安部
H20	国吉
H20	倉本
H20	平塚
H21	朝長
H21	石原
H21	桑原
H21	花本
H21	原島
H22	北垣
H23	香川
H23	山端

【物故者】

17	豊田
19	山本
21	吉江
21	喜多
21	今井
22	越出
22	伊東
22	立松
23	久保
23	三重
23	田中
24	赤松
24	高野
24	真那
25	澤井
25	酒井
25	清口
26	後藤
26	川崎
28	渡辺
29	吉田
32	松吉
32	川崎
32	笠原
33	林田
33	小堀
36	渡辺
37	倉益
38	森光
40	大庭
43	伊藤
48	浜田
51	高橋
53	潮崎
56	府内
57	寺田

【編集後記】

平素は OB 会の活動にご理解、ご協力いただき厚くお礼申し上げます。

前号でここに平成 24 年 12 月の総選挙について書いた。結果は、自民党の大勝。アベノミクスのおかげで行き過ぎた円高が是正された。しかし、依然原発問題、震災復興、外交問題、異常気象など問題は山積み。庶民としても草の根で出来ることから社会に貢献したい。

OB 会としては、平成卒の若い人の参加が課題です。お近くの方に声掛けをお願いします。(武)

発行日 平成 25 年 12 月 15 日
 発行者 九州工業大学責善会自動車部
 主将 穴井
 明専・九州工大自動車部 OB 会
 会長 木村
 編集者 武地(51)

口座番号





明専・九州工業大学自動車部 OB 会
九州工業大学責善会自動車部